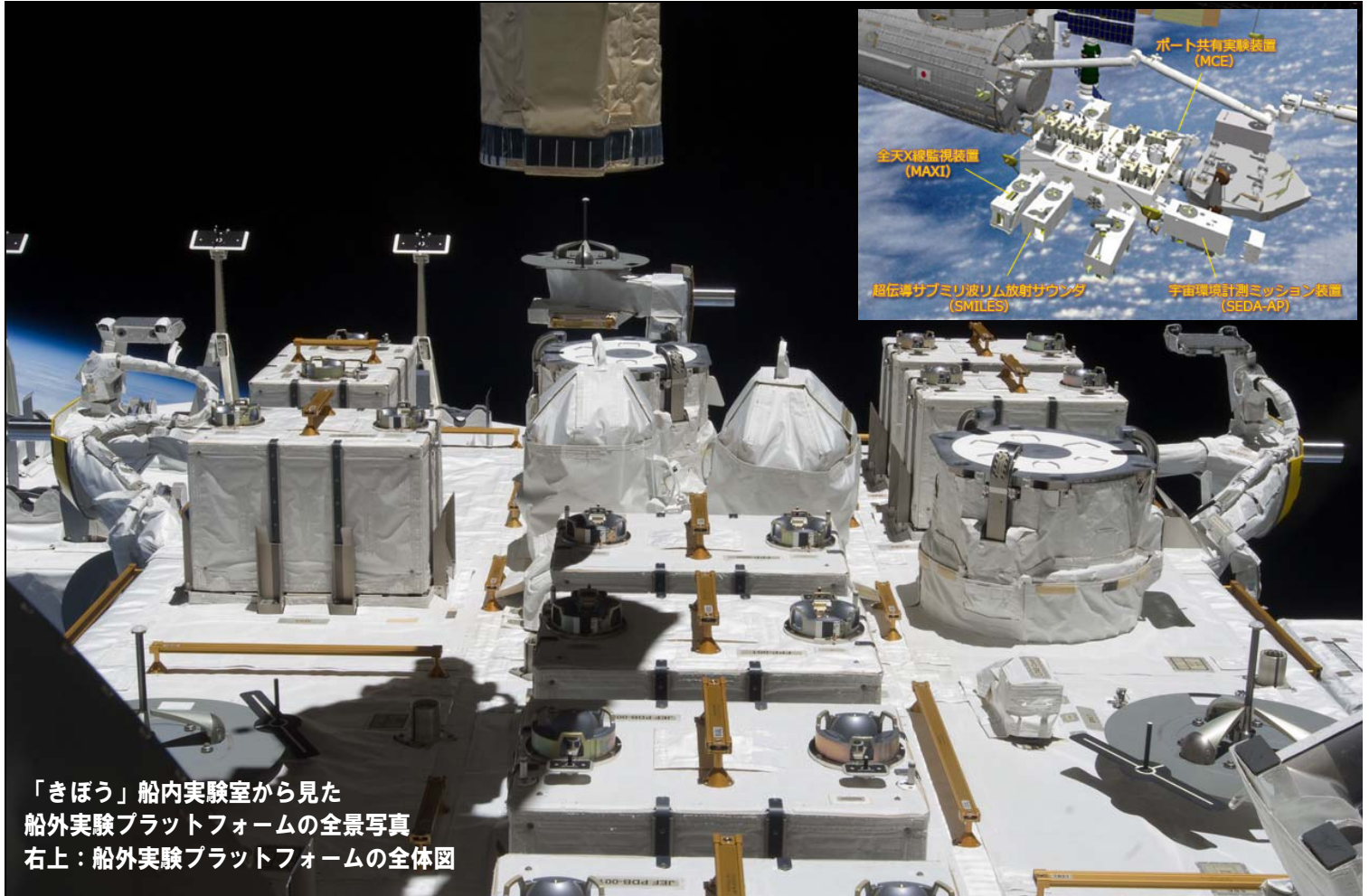


「きぼう」日本実験棟のベランダ？！ 「船外実験プラットフォーム」とは



「きぼう」船内実験室から見た
船外実験プラットフォームの全景写真
右上：船外実験プラットフォームの全体図

「きぼう」日本実験棟には国際宇宙ステーションでただひとつ宇宙空間に露出している実験施設があります。この施設を「**船外実験プラットフォーム**」と呼んでいます。

「船外実験プラットフォーム」には小型の実験装置がいくつも宇宙空間にさらされた状態で取り付けられており、空気がなく、視野が広い宇宙環境を使って、星や銀河、地球の大気などの観測が行われています。

今年打ち上げ予定の「こうのとり」3号機では、宇宙から雷の様子を調べる観測装置、宇宙飛行士の船外活動を手伝うロボットの実験装置などが新たに運ばれます。

今年の『国際宇宙ステーション/「きぼう」利用成果シンポジウム』では 「きぼう」船外実験プラットフォームを大特集！

「きぼう」船外実験プラットフォームに焦点を当て、実験を指揮した研究者・技術者の声で利用成果を紹介するとともに、上空400kmにある「きぼう」からの宇宙、地球を見た世界の面白さを伝えます。なお、先ごろISSに長期滞在した古川宇宙飛行士も討論に加わります。

お申込みはこちら⇒ https://www.science-event.jp/kibo_riyousympo_2403/

日時：平成24年3月22日(木) 18:30～20:30

場所：秋葉原UDXギャラリー Sホール

(東京都千代田区外神田4-14-1 UDXギャラリー 4F)

主催：宇宙航空研究開発機構 定員：約240名(無料、**事前申込制**)

お問い合わせ先：「きぼう」利用成果シンポジウム事務局

(財)日本宇宙フォーラム内(白石・榎) TEL: 03-6206-4942

E-mail: kibo_riyousympo_2403@jsforum.or.jp